

2012年1月30日
2014年3月19日rev
2017年8月17日rev2

就職戦線にのぞむに際して

就職ガイダンスでの「お説教」

群馬大学大学院 工学研究科

電気電子工学専攻

小林春夫



「大企業では歯車の一つになっ てしまう」の表現は正しいか

- 「歯車の一つ」になる
(与えられた仕事を正確に行える)のは大変。
- コンピュータ保守の管理職
「客先にアポイントをとり、保守の仕事をして、
結果を上司に報告できれば一人前。」
- どんな仕事も一生懸命やる。
自分 「自分はまだもっと難しい仕事ができる」
相手 「こんな簡単な仕事もできないのか」



仕事は一人でやるのではない コミュニケーション能力が必要

- 同僚、上司、後輩、客先、協力会社
さまざまな人と連携して行う。
- 「人に聞ける」のは重要な能力
- 「聞ける人を持っている・知っている」
のは財産
Know How だけでなく
Know Who が重要
- 日本企業の能力査定の一つ
「挨拶ができるかどうか」



コミュニケーション能力とは

「コミュニケーションで最も大切なことは、
相手が語らない部分を聞くことである。」

「多くの人々が、話上手だから
人との関係は得意だと思っている。
対人関係のポイントが
聞く力にあることを知らない。」

(経営学者 ピーター・ドラッカー)



自分の仕事を理解する

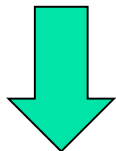
レンガを積んでいる人に

「何をしているのか」を問う。

最初の人「レンガを積んでいる」

2番目の人「壁を作っている」

3番目の人「寺院を作っている」



3番目の人のレベルになる

家族等を含めた

自分のための働く

自分のために働くとき 最も力を発揮する。

「従業員は 家族、自分のために働け。

それを会社の利益に導くのは経営者の仕事」

(本田宗一郎氏)

「将と卒の利害が一致している軍は強い。」

人の為(ため)と書いて偽(いつわり)と読む

相田みつを 氏

(ただし、これは心の中で思っけていても
面接では言わない方がよいかも)

将来的に「リーダー」を目指そう

- 「与えられた仕事を正確にできる」だけでよいのか
- 「中世の海賊船」のハリウッド映画(20年前)
海賊達が船を分捕り、食料等の積み荷を準備。
世界の海へ打って出ようとする。
- 海賊達 「キャプテン(船長)を見つけよう」
海賊達はキャプテンの指示に従うのみで、
自分達だけでは世界の海へ出られない。

キャプテンは 航海術、天文学等の知識・経験を持つ
高いレベルの人。

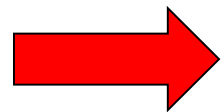
エリート意識をもて エスキモーのエリート

エスキモー：シベリア極東部、アラスカ、
カナダ北部、グリーンランドに住む先住民族

天候難等で食料が得られないとき

残り少ない食料を

「智力」「体力」の最もすぐれた若者に集める。



責任をもって部族の食料を確保する。

エリート = 選ばれし者



分野でトップになることが重要

- トップの人に仕事が集まってくる。
情報が集まる、ますます力をつける。
- General Electric 社の
元会長 ウェルチ氏
「世界で1位または2位でない事業は
撤退する。」
- 個人でも組織でもその分野のトップに
なることが重要



国際人を目指す

国際人 = 立派な日本人

明治維新前後に欧米に渡った日本人
英語ができなくとも、先端技術がなくても
「立派な日本人」であるため尊敬を集めた。

現在 コミュニケーション英語能力は
立派な日本人であるための一つの要素。

現在は 比較的容易に英語を学べる環境。
英語を修得しない = 努力しない



職業を考える

- 「職業に貴賤はない」
- 「職業への夢を持つ」
- 職業 → ドイツ語で **Beruf**

「神からの使命」の意味。

マルチン・ルターが、聖職者だけでなく
一般の職業に対しても最初にBerufと表現。

「プロテスタントイズムの倫理と資本主義の精神」

(Max Weber)

就社と就職

—異論はあるかもしれないが—

● 就社（日本社会の傾向）

一つの会社に長年務める。

その会社の中では、技術開発、マーケティング
営業等 様々な仕事を経験する。

会社はかわらない、仕事はかわる

● 就職（米国社会の傾向）

一仕事すると会社は数年でかわることあり。

しかし、自分の仕事・専門領域はかわらない。

会社はかわる、仕事（専門領域）はかわらない



応募する企業の 経営理念、歴史を調べる

● 理念

“理”とは「整える、筋道をつける」

“念”とは「心から願う、心中深く考える」

● 「企業活動の目的は利益追求ではない。」

(Peter F. Drucker)

もちろん、適正な利益をあげなければ、
企業の継続的存続、理念の実現、雇用の確保
社会貢献はできない。

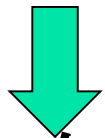


自分が何をやりたいかを考える

自分が仕事で何をやりたいか。
将来どのようになりたいか。



応募する会社で
それをどのように実現していききたいか。



面接でそれを言ってみよう。

(技術系経営者 談)

応募する会社の特許調査を行う

応募する会社

自分のやりたい仕事の分野



その会社の最近の特許出願を
インターネットで検索し、情報を得る。



自信をもって面接にのぞめる。

特許だけでなく、ときには学会・論文発表の調査も有用

就職活動途中で内定が得られなくとも

自分への自信を失わない

- 面接等を振り返り、反省し改善する。
- 時期にも依存。

「バブル期 →

高校には 企業から採用関係者が多数訪れる。

バブルがはじける →

ほとんど来なくなる。

教員は生徒の就職のお願いの企業まわり。

まさに手のひらを返したようであった。」

(高校の先生 談)

採用試験が応募者の全人格を評価できているわけではない

- 就職は**本人と企業の相性、縁**
- 応募者がどれだけ会社に貢献するか
会社にとって、人を雇うのは大変
適切な人を採用できるかは死活問題
- ➡ **採用する側の立場に立って考える。**
- ➡ **面接で何を言えば良いかが分かってくる。**
- 自分に合った1社の内定をもらえばよい。

なかなか内定をもらえなくても 心を強く持つ。



内定をもらったら

謙虚な気持ちを持つ

「名を成すはつねに窮苦の日であり。
事敗れること多くは得意の時による。」

(井上準之助/渋沢栄一)

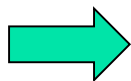
「どの会社、どの大学も
君らを一流にしてくれない。
自分が努力して一流になる。」

(社会人教育担当者 談)

仕事の報酬は仕事

良い仕事をすれば

良い仕事ができる。



良い人が集まってくる。

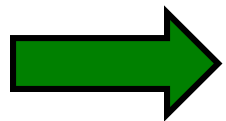


藤原銀次郎

(製紙王 藤原銀次郎)

「自主」「独立」の重要性、「個」の確立

- 組織によりかからない個人のほうが仕事ができる。



組織にとってありがたい存在

肩書き、組織名ではなく

どのような仕事をしているかを

答えられるようにする。(ドラッカー)

- 国を支えて国に頼らず(福沢諭吉)

- 国が諸君に何をしてくれるかではなく、

諸君が国に何ができるかを問え。(J. F. Kennedy)



福沢諭吉

餌付けされた動物は野生では生きていけない。

人は最終的に「何をなしたか」で 評価される

イスラエル地区： キリスト教、イスラム教、ユダヤ教

死海：湖面が海より低い。湖水が流れ出さない。

塩分が高く、植物・魚はほとんど生きられない。

ガリラヤ湖：湖水が河となり流れ出す。

まわりは豊かな緑で花が咲き乱れている。

繁栄するためには

「得る」だけではだめ。「与え」なければならない。

Input だけではだめ。Output をださなければならない。

Output をだすための訓練が卒業研究。